

2025年度 事業計画書

1 事業実施の方針

障害児者の役割づくり・仕事づくり・居場所づくり事業については、障害理解の促進や共生社会の実現に向けて、障害を抱える人たちが地域の高校生と交流しながら表現活動するアートワークショップと創作した作品の展覧会を実施します。また、個々の特性に応じて進路の可能性を広げていくため、就労先の選択肢を広げる職場実習と一般企業の理解促進のための事業に取り組みます。

障害に関する情報の発信・ネットワークづくり事業については、障害を抱える子と過ごす保護者などが情報交換する相談室の開催により、相互の繋がりを強化していきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象 者の範囲 及び予定 人数	支出 見込額 (千円)
①障害児者の 役割づくり・ 仕事づくり・ 居場所づくり 事業	<u>①-1 アートワークショップ</u> 障害を抱える人たちが表現活動をする場として、全4回のアートワークショップを実施。地域の高校生と交流し、サポートを受けながら作品を制作します。	7/28(月) 8/4(月) 8/20(水) 9/14(日) 13:00 ~16:00	沼津市 サンウェルぬまづ	15人	障害児者 (表現者) 延べ 100人 高校生 サポーター 延べ 150人	4,540
	<u>①-2 展覧会</u> アートワークショップで創作した作品や創作活動の様子を展示。今は私事(ワタクシゴト)である好きなことやこだわりをいつか仕事(シゴト)につなげるためのワタクシゴトフェスも同時開催します。	12月	沼津市 サンウェルぬまづ	15人	観覧者 300人	

②障害に関する情報の発信・ネットワークづくり事業	①-3 就労先の選択肢を広げる職場実習【日本財団1】 特別支援学校や支援学級、職場実習がない高校に通う中高生が、一般企業や福祉事業所で職場実習します。実習後は、実習者・保護者・受入先・行政・就労支援者らが課題を話し合い、個々の特性に応じた進路を検討します。	7月 ～10月	静岡県 内外の 企業や 事業所 沼津市 プラサ ヴェルデ	10人	グレーゾーンや障害のある 中高生 20人	
	①-4 一般企業の理解促進【日本財団2】 一般企業の従業員（現場の管理者や作業員、採用担当等）が就労支援事業所を訪問し、事業所利用者の仕事を協働で作業します。作業後には振り返りを行い、一般企業の参加者は業務改善や業務切り出しを行い、障害理解を促進します。	10月 ～11月	県東部 地域の 企業や 事業所	10人	一般企業の従業員 20人	
	②-1 相談室 障害を抱える子と過ごす保護者などが日頃悩む内容や支援方法のアイデアなどについて情報交換・共有する相談室を3回実施します。	7月 9月 1月 13:00 ～15:00	沼津市 サンウェ ルぬまづ	5人	障害児者の家族 延べ 30人	10
③その他この法人の目的を達成するために必要な事業						0